

「抑制機能の神経基盤とその発達に関する研究」

抑制機能の神経基盤とその発達に関する研究についての説明

1. 被験者の権利

実験開始前に、研究の主旨、方法等について、口頭による説明と本説明書により、よくご理解いただいたうえで参加するかどうかを判断してください。被験者となることは自由意思によるものであり、同意をされない場合において不利益が与えられることはありません。また、同意書に署名した後でも、実験が継続できなくなった場合やその意志が無くなった場合には、いつでも中断することができ、そのことにより何ら不利益が与えられることはありません。

2. 本研究の研究目的・意義

脳の複雑な機能の一つに必要な応じて行動や運動を抑制するというものがあります。この機能は主におでこの下の脳の領域が関わっていることが調べられていますが、その領域がどのように行動や運動を抑制しているのかなど、そのメカニズムはわかっていないことがたくさんあります。また、おでこの下の脳の領域はほかの脳の領域と比べてゆっくりと成熟していくことが調べられていますが、それに伴い行動や運動を抑制する機能やそれに関連した活動がどう変化していくのかもよくわかっていません。

本研究では、この抑制機能の基本的なメカニズムを明らかにするとともに、その脳機能がどのように発達するかを明らかにするのが目的です。本検査はその基礎としての心理学的なデータを得ることを目的として実施します。

こうした脳の働きを解明することは、注意や抑制の苦手な人たちの理解につながり、よりよい支援法や指導法の開発などに応用されることが期待されます。

3. 検査方法

PCの画面に出てくる課題について、指示に従ってボタンを押して答えていただきます。課題の途中に休憩時間を取りますので、必要に応じて休憩を取ることができます。所要時間は、検査自体は60分位で、全体として説明や練習時間を含めて約90分程度です。

4. 研究協力への同意と撤回について

研究協力者様にこの研究の主旨を理解し協力に同意していただいた場合に限り検査を行います。検査についてご協力いただけるようでしたら、同意文書に署名をお願いいたします。これは、強制ではなく研究協力者様自身の意思が尊重されます。

研究に協力されない場合でも、研究協力者様が不利益を受けることはありません。また、同意文書に署名後に、この検査への協力の意思がなくなりましたら、その場合にはいつでも同意を撤回することが出来ます。この場合、得られた検査データは、速やかに破棄いたします。ただし、すでに個人が特定できない形で解析している等、一部データについては破棄ができない場合もございます。また、学会等で発表済みのデータについては発表の撤回は行いません。

5. 協力者の方の利益、不利益

本研究は基礎研究であり、協力者の方個人には直接の利益はありません。また、使用する研究手法はPCや質問紙を用いた簡単な心理検査であり、協力者の方個人に予想される不利益はございません。

6. 個人情報保護について

協力者の方の個人情報（お名前、住所など）は、検査データと別に外部に漏れないように研究終了後10年間の経過するまで厳重に保管します。検査データを取り扱う際には個人名を匿名化した上、研究責任者の方の下で鳥取大学地域学部にて保管されます。また、研究終了後も個人の特定ができない形で保管され、さらなる研究の発展のために活用されます。研究成果は、学会や学術雑誌、メディア等を通し発表や公表しますが、その際は個人を特定されることはありません。保管期間終了後、紙媒体のデータ・同意書等はシュレッダーで裁断するなどして廃棄します。電子データについては消去ソフトを用いて媒体より完全な消去を行い破棄します。

7. 知的財産権などについて

この研究の成果によって知的財産権が生じた場合、研究協力者の方個人がその権利を有することはありません。

8. 研究の責任者

谷中 久和 （鳥取大学地域学部 講師）

9. お問い合わせ先

この研究についてのお問い合わせや苦情は、下記担当者までご連絡下さい。

鳥取大学地域学部 講師 氏名 谷中久和

連絡先

所在地：〒680-8551 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101 鳥取大学地域学部谷中研究室

電話番号：0857-31-5074（研究室）

e-mail：yanaka@rs.tottori-u.ac.jp